

令和元年度 奄美市 ICT 先進技術習得事業「先進技術習得事業」

研修案内

「情報通信関連事業者向け I C T 先進技術習得研修」

副題：【奄美で ICT 開発】AI・RPA 開発をレベルアップ

2019 年 12 月 18 日

(有)アイ. タイムズ

都市圏にて先進技術を活用した事業をされている「株式会社ファインゲート」より講師陣を招き、下記の研修を開催致します。

「情報通信関連事業者向け ICT 先進技術習得研修」
副題：【奄美で ICT 開発】 AI・RPA 開発をレベルアップ

なお、以降の文中で下記のとおり用語を使用しますのでご承知おきください。

- ・ 先進技術を組み込んだ ICT 開発：「**先進技術 ICT 開発**」と称します。
- ・ 先進技術に関わりのない従来タイプの ICT 開発：「**従来型 ICT 開発**」と称します。

1. 研修対象者と参加要領

■ 受講定員

最大30名迄。

席に限りがありますので、定員超の場合には参加のお断りをさせていただくことがあります。予めご承知おきください。

■ 対象

- ・ ICT事業を営む事業者（従業員含む）
経営者・管理者・技術者、フリーランスの方を含みます。
- ・ ICT事業に強い関心のある方

■ 奄美市外に在住の方

定員超の場合、奄美市在住の方を優先させていただきます。

■ 参加要領

受講申込書に記載のうえ、研修事務局へFAXまたはメール添付にてお申込みください。

研修事務局から申込結果をお知らせいたします。

2. 研修事務局

有限会社アイ.タイムズ

研修事務局

TEL 0997-69-4855 (平日 9:00 - 18:00)

FAX 0997-69-4432

MAIL seminars1@itimes.co.jp

3. 研修の目的

従来型 ICT 開発に携わる事業者が先進技術 ICT 開発へ取り組むうえで、まず先進技術について理解を得ておく必要があります、従来型 ICT 開発と先進技術 ICT 開発の開発スタイルの違いを知っておく必要があります。

また奄美に先進技術 ICT 開発を引き込むためには奄美ならではの特性とメリットをアピールできる必要があります。

今回の研修では、従来型 ICT 開発の事業者に向け、AI/RPA などの先進技術を題材にしながら先進技術の基礎技術を解説し、先進技術 ICT 開発(提案、受注、開発、導入)の姿、加えて奄美を拠点とした ICT 事業に取り組むにおける奄美の特性、メリットとデメリットを整理し、先進技術 ICT 開発に向けた島外へのアピール事項、事業スタイル、開発スタイル、マネジメントスタイルなどを解説します。

4. 期待できる効果

基礎力向上

先進技術を構成する中核技術は従来技術に基礎をおくものです。従来型 ICT 開発に慣れた事業者向けに従来型技術の観点で先進技術を説明し、奄美事業者の技術スキルアップチャレンジを促します。これにより「技術者の基礎技術力向上」が期待できます。

提案力向上

奄美 ICT の立ち位置を理解し島外顧客へ奄美 ICT 開発の特性とメリットなどをアピールできる「受託提案力向上」が期待できます。

開発力向上

先進技術ならではの開発スタイルを把握し、先進技術案件受託を安全に円滑に進められるようになり、失敗リスクを減らす「開発力の向上」が期待できます。

波及効果

上記3点からの波及として「先進技術 ICT 開発」受託開発のチャンスを増やす効果が期待できます。また先進技術を活用した開発への理解を深めることで、総合的に開発スキルが向上し、「従来型 ICT 開発」案件についても受託増の効果が期待できます。

5. 研修への思いとテーマ

先進技術活用案件を開発するにはまず先進技術を知る必要がある。それを構成する技術要素は従来技術で説明可能であるので知って欲しい。また開発事例を知ることにより、新たな着眼点を得て、技術力アップを図れるはず！

テーマ：ICT を活用した先進的サービス

先進技術活用案件を奄美に引き込むためには、先進技術を知ったうえで、かつ奄美 ICT ならではの地域特性、事業メリット・デメリットを整理して島外へ説明できるべきである。

テーマ：奄美を拠点とした ICT 事業とは

先進技術活用案件を奄美で受託したとして、従来型開発スタイルで臨むと失敗するリスクが高い。案件受託後に失敗しないように備えるべきである！

テーマ：奄美を拠点とした ICT 開発のマネジメント

6. カリキュラム紹介

(1). ICT を活用した先進的サービス

■ 概要

先進技術といえども従来技術の組み合わせで理解できます。

(中核技術：データベース技術、ネットワーク技術、パターン化及び高速マッチング技術など)

ここでは RPA・AI の技術構成の成り立ちを**従来型 ICT 開発**に慣れた事業者向けに、従来技術の切り口で先進技術を解説します。また講師企業における開発導入事例の紹介をとおり、業務仕様の整理、開発の手順、運用上の問題、開発費用見積など、開発計画におけるポイント、注意点を説明します。

■ 研修内容

- ・ 先進技術を構成する中核技術 (RPA 、 AI)
- ・ 開発事例(RPA)
- ・ 先進技術開発の開発計画、注意点

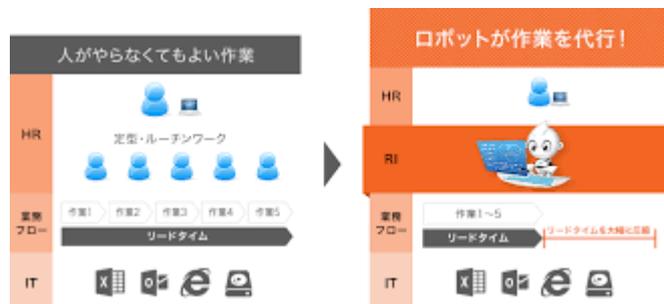


図) RPA 講義資料<RPA の仕組み>

(2). 奄美を拠点とした ICT 事業とは

■ 概要

奄美諸島にて開発事業を推進するために必要な、島外（都市圏）から見た奄美 ICT 事業の有益性と奄美 ICT 事業を推進するために必要な情報を実例にもとづき提示し、都市圏顧客と接することが多い講師企業ならではの島外へのアピール作戦などを紹介します。

■ 研修内容

- ・発注企業のスケールメリット
- ・地政学に影響される ICT 事業の方向性
- ・人材育成と案件管理及び要員計画の重要性
- ・ICT 事業における契約形態
- ・ICT 事業における開発作業とマネジメント

表) 東京比較単価係数

	<都道府県>	<東京比較単価係数>
1	東京都	1
2	神奈川県	1
3	千葉県	0.97
4	埼玉県	0.96
5	愛知県	0.94
6	静岡県	0.92
19	奈良県	0.82
20	長野県	0.81
27	福井県	0.78
28	新潟県	0.76
29	愛媛県	0.75
30	鹿児島県	0.75
31	熊本県	0.75
32	福島県	0.74
38	高知県	0.72
39	鳥取県	0.72
40	沖縄県	0.71
41	佐賀県	0.7
-	全国平均	0.8

(3). 奄美を拠点とした ICT 開発のマネージメント

■ 概要

近年、例えば奄美を拠点として ICT 事業を推進するなど、首都圏と国内地方を結び開発事業を共同で進めるケースが多くなりつつあります。奄美と首都圏各地との間で円滑かつスムーズに ICT 事業を進めるためにマネジメント・コミュニケーションの点が重視されてきてはいますが、昔ながらの古い開発スタイルを踏襲し続ける事業者（開発現場）もあると思います。先進技術 ICT 開発案件では従来の古いスタイルでは通用しない局面が多くなります。ここでは従来型 ICT 開発にて大切にされている事柄をおさらいしながら、先進技術 ICT 開発で欠かすことができない、「マネージメントとコミュニケーションとは何か?」「望まれている姿（ツール・手法含む）」について研修を実施致します。

■ 研修内容

- ・ マネージメント

WBS（シミュレーション、本質理解と定量化）

- ・ コミュニケーション

言語理解と主観性、客観性

7. スケジュール

開催予定日	時刻	研修名・会場
令和2年1月24日(金)	19:00~20:30	第1回目研修 (1). ICTを活用した先進的サービス ※ 奄美市産業支援センター2階 あまみ働き方ラボ 奄美市名瀬浦上町48-1
令和2年1月25日(土)	13:00~16:30	第2回目研修 (2). 奄美を拠点としたICT事業について (3). 奄美を拠点としたICT開発のマネージメント ※ 奄美市産業支援センター2階 あまみ働き方ラボ 奄美市名瀬浦上町48-1



8. 講師陣

氏名	経歴
菅沼 正人	システムエンジニア歴 20 年 金融基幹系システムコンサルタント
小田切 洋介	株式会社ファインゲート取締役 大手通信システム企画従事
上野 健吾	株式会社ファインゲート代表取締役 奄美と都市圏を結ぶ ICT 開発を推進中
渡辺 翔太	ネットワークエンジニア歴 6 年 大手開発ベンダー案件従事
谷村 春樹	システムエンジニア歴 5 年 大手開発ベンダー案件従事

9. 申込要領

受講申込書に記載の上、事務局へFAXまたはメール添付で申込みをお願いします。

お問合せ事項は、電話またはメールでお願い致します。

有限会社アイ.タイムズ 研修事務局 担当まで

TEL 0997-69-4855 (平日 9:00 - 18:00)

FAX 0997-69-4432

MAIL seminars1@itimes.co.jp

受講申込書は、弊社サイトのニュースリリース記事にてご案内いたします。

そちらよりダウンロード願います。

弊社サイト <http://www.itimes.co.jp/>

申込期限：令和2年1月22日(水) 午後3時

【個人情報保護について】

■ 個人情報の利用

個人を特定できる個人情報は、本研修の運営に関してのみ利用します。

また、研修記録は研修実施後5年間の保管が義務付けられており、保管期間中は奄美市担当窓口からの要請があれば開示する義務があります。研修終了後は開示義務以外の用途で利用することはありません。

■ 個人情報の第三者への開示・提供

以下の場合を除き、ご本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に開示・提供することはいたしません。

- (1) 個人を識別することができない状態（統計資料等）で開示・提供する場合
- (2) 委託先である奄美市からの要請に基づき本研修記録を奄美市へ開示する場合
- (3) 法令等に基づく場合

■ 個人情報の管理（安全管理措置）

研修中は、個人情報が記載された情報は、セミナー事務局内で厳重に管理致します。

- ・複製をとらない、及び、原本はセミナー事務局管理者のみが保持致します。
- ・運営はセミナー事務局企業が行い、外部へ委託することは致しません。
- ・研修期間中のセミナー時間帯以外は、一切の資料を施錠された場所に保管致します。

研修終了後に奄美市へ研修報告を行いますが、研修報告に含まれる個人情報は奄美市担当窓口以外へ渡ることがないように厳重に処置致します。

- ・原本（1部）は奄美市担当窓口へ確実に提出致します。
- ・複製は1部のみ取得し、セミナー事務局企業内の施錠された場所に保管致します。
- ・運営の過程で生じる上記以外の資料はその一切をシュレッダー廃棄致します。